

わが国における公営競技のあり方に関する一考察

- スポーツと賭け事の関係に着目して -

A study of publicly operated games focusing on relationship between sport and gamble

1K06B197

指導教員 主査 吉永武史先生

町田直也

副査 寒川恒夫先生

【研究の動機】

今日、公営競技である競馬や競輪、競艇、オートレースをはじめ、最近ではサッカーくじ（toto）の導入もあり、多くのスポーツで賭けが盛んに行われている。しかし、その一方で賭けに対して嫌悪感や忌避感といった負のイメージを持つ人々も多く、スポーツギャンブルである公営競技の魅力をまだ知らない人は多いであろう。そこで、賭けの負のイメージを改善し、公営競技をもっと身近なものとして多くの人々に楽しんでほしいと考える。公営競技のスポーツ性やギャンブル性は一種の娯楽として今日の社会に確立しつつあると私は感じている。また近年、サッカーくじ（toto）の導入でスポーツギャンブルはより注目を集めている。そこで、公営競技の魅力や存在意義、また今後の発展について調査し、考察していきたい。

【研究の目的】

スポーツと賭け事関係を明らかにし、賭け事の「悪」という負のイメージを転換するとともに観るスポーツとしての価値を高める公営競技のあり方について検討することを目的とする。

【研究の方法】

公営競技の歴史・現状・将来を検討するために、研究方法としてはスポーツならびにスポーツギャンブルに関連する文献やインターネット情報を収集し、そのデータをもとにして、スポー

ツと賭け事関係について調査、分析する文献研究である。

【各章の概要】

第1章 スポーツと賭け事をめぐる議論の概念

スポーツと賭けの意味や歴史的背景、文化など広範囲から関係性を述べる。スポーツと賭けは遊びから誕生し、今日では身体活動のある、競争性の高いものがスポーツと呼ばれ、賭けは気晴らしや娯楽、消閑のために行なわれていたが、儒学の導入や教育聖旨、また第二次世界大戦の影響で負のイメージがつき、それが今日のギャンブルにも影響している。しかし今日では、スポーツと賭けが密接に関係する公営競技が成り立っている。

第2章 スポーツと賭け事関係を象徴する公営競技の特徴

今日の公営競技に代表されるものは競馬、競輪、競艇、オートレースの4つが挙げられる。レースでの高い競争性や動物、機械を操る高度な技術は観客を常に魅了している。また賭けという手段を用いて、より楽しみの大きなものになっていると考えられる。公営競技の特徴とそれに手段として賭けを行ない、レースを予測・推理する楽しさについて考察する。

第3章 「観るスポーツ」としての価値を高め

る公営競技のあり方

観るスポーツとして価値を高めるためには、高い競争性や高度な技術、スポーツの感動、賭けの楽しさを多くの人々に理解してもらう必要がある。また今後スポーツギャンブルが注目されることで、賭け事の負の影響や公営競技の健全化も考えなくてはならない。様々な視点から観るスポーツとして魅力のある公営競技の価値を高める方法を探る。

結章

第1章から第3章までのまとめを行い、考察を述べることと公営競技のあり方、今後の課題について自らの視点で提言していく。